

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-527343(P2005-527343A)

【公表日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-036

【出願番号】特願2003-539825(P2003-539825)

【国際特許分類】

B 0 1 D	63/08	(2006.01)
B 0 1 D	63/00	(2006.01)
B 0 1 D	65/00	(2006.01)
B 0 1 D	65/04	(2006.01)
B 0 1 D	71/06	(2006.01)
B 0 1 D	71/26	(2006.01)
B 0 1 D	71/34	(2006.01)
B 0 1 D	71/42	(2006.01)
B 0 1 D	71/68	(2006.01)
C 0 2 F	1/44	(2006.01)

【F I】

B 0 1 D	63/08	
B 0 1 D	63/00	5 0 0
B 0 1 D	65/00	
B 0 1 D	65/04	
B 0 1 D	71/06	
B 0 1 D	71/26	
B 0 1 D	71/34	
B 0 1 D	71/42	
B 0 1 D	71/68	
C 0 2 F	1/44	K

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月23日(2005.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

汚水を清浄化するためのろ過モジュールであって、複数のろ過メンブレンバッグが設けられており、該ろ過メンブレンバッグがその都度少なくとも1つの開口(21)を、ろ過メンブレンバッグの内室を排水するために有しており、ろ過メンブレンバッグが垂直、平行かつ有利には互いに等間隔で、剛性的な直方体のホルダに配置されており、それにより、隣接するフィルタメンブレンバッグの間に位置する中間室が集中的に液体により通流可能であるようになっている形式のものにおいて、フィルタメンブレンバッグが実質的に平らにかつフレキシブルに形成されており、直方体のホルダの、互いに対向して位置する閉鎖した面(12)で全長にわたって固くホルダに結合されており、該ホルダが少なくとも1つの吸出管路(20)を、フィルタメンブレンバッグの開口(21)を介して吸い出される液体を導出するために有しており、かつフィルタメンブレンバッグが単数のフレキシ

ブルで液体透過性のコア（16）および／または複数のフレキシブルで液体透過性のコアエレメント（17，18，19）を有していることを特徴とする、プレート状のろ過モジュール。